


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 専任講師</p> <p>深 沢 佐 恵 香 （ふかさわ さえか）</p> <p>FUKASAWA Saeka</p>
所属	保 育 科
学位	修士（児童学）（日本女子大学）
資格・免許	<p>保育士資格（東京都－109322）</p> <p>幼稚園教諭専修免許状（東京都教育委員会：平 29 幼専第 11 号）</p> <p>小学校教諭専修免許状（東京都教育委員会：平 29 小専第 37 号）</p>
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2016 年 3 月 日本女子大学家政学部児童学科 卒業 （学士（児童学））</p> <p>2018 年 3 月 日本女子大学家政学研究科児童学専攻 修士課程 修了 （修士（児童学））</p> <p><職歴></p> <p>2018 年 4 月 都内私立幼稚園 教諭 （2020 年 7 月まで）</p> <p>2020 年 7 月 日本女子大学家政学部児童学科 学術研究員 （2021 年 3 月まで）</p> <p>2020 年 8 月 甲府市教育委員会 甲府市立小学校学習指導員 （2021 年 3 月まで）</p> <p>2021 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 特任講師（2024 年 3 月まで）</p> <p>2024 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 専任講師（現在に至る）</p>
担当科目	<p>保育課程論 保育内容（人間関係） 子どもと人間関係 幼稚園教育実習指導（1年） 幼稚園教育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 卒業演習Ⅰ</p> <p>保育内容特論（人間関係） 保育課程特論 子どもと人間関係特論</p>
専門分野	保育学
現在の研究テーマ	幼児の主体的な遊びと保育者の援助、ふり見立て遊び、ごっこ遊び
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	日本保育学会 日本保育者養成教育学会 乳幼児教育学会
メッセージ	<p>乳幼児教育は、人間形成の基礎を培う重要な教育です。それを学ぶ皆さんには、ぜひ短大で学んだことを社会で生かして行ってほしいと思います。少しでもそのお手伝いをできれば幸いです。</p>

教育	
2025年4月～2026年3月	
教育方針	保育実践を「みる」力の育成
授業	<p>授業の工夫</p> <p>—2024年度実績—</p> <p>2023年度より専攻科1年生対象の「保育課程特論」の授業内容を見直し、保育の記録と観察を中心とした授業に変更した。本年度は保育科1年生対象の「保育課程論」について、実習時期の変更を踏まえて保育記録に関する授業の一部見直しを行った。</p> <p><保育課程論></p> <p>2023年度までは保育実践のDVD映像を見た上で保育記録を作成する方法をとっていた。2024年度より幼稚園教育実習Ⅰの実習期間が変更になったことで実習を終えた直後に保育記録作成を行うことが可能になったため、学生自身の幼稚園実習記録を活用した記録の作成と記録の捉え直しを行う方法に変更した。保育記録の中から印象に残った遊び・生活等の場面について具体的な子どもの姿や自身の声かけ、そこから得た学びなどをエピソード記録として書き起こした上で、子ども育ちを「10の姿」や「3つの柱」から整理するワークシートを作成することで、保育実践を多面的に捉える力の育成を図った。映像から作成する保育記録と比較し、細やかなやりとりや自身の考えや学びがより具体的に記述されていたと考える。記録を書くだけでなく、様々な視点から捉え直すことで理論と実践のつながりをより強化できたと考える。学生からの授業評価も高評価だったことから今後も継続して行っていきたい。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>授業後のレスポンスシートを丁寧に確認し、要望等あった場合は随時対応している。また授業冒頭でレスポンスシートの感想・質問を紹介し、授業内容に反映させる等、学生と教員の双方向型のコミュニケーションが図れるよう取り組んだ。また、前年度の授業評価アンケートや定期試験・レポートの成績状況を整理し、理解度や満足度の低い点については随時見直しを行っている。今年度は実習が重なった授業に関する理解度の低下が見られたことから、実習後のフォローを丁寧に行っていきたい。</p>

教育 (つづき)		
2025 年 4 月～2026 年 3 月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<p>—2024 年度実績—</p> <p><卒業演習></p> <p>卒業レポートについては「10 の疑問」のワークシートを作成することで、学生一人一人が自身の興味関心の分野を自己認識できるようにした。また、「研究計画」ワークシートを作成し、研究テーマの目的や具体的な内容、研究方法等、学生自身で計画的に研究を進められるように指導した。研究方法ごとの勉強会を実施しテーマに合った研究方法を選択できるようにした。また、学生の研究テーマによっては実地調査への同行や支援を行った。個別の指導を中心に行うことで一人一人の状況に応じた支援に努め、定期的に全体中間報告会を行うことで学生同士のコミュニケーションも取れるようにした。ゼミ内発表会では、学生の司会進行のもと、ゼミ生全員が PowerPoint によるプレゼンテーションを行った。</p>
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p><2024 年度 卒業レポートテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習後の保育職に対するイメージと希望の就職先の変化 ・障がい者に対しての偏見や差別について ・インクルーシブ保育の実際—障害児を受け入れている保育現場の実際と関わり方— ・愛着関係における母親・父親・保育士の関わり—それぞれが子どもに与える影響— ・日本と海外の保育制度の違い ・出生前診断に対する大学生の意識調査 ・赤ちゃんの誕生による上の子の行動変化 ・子どもの会話量は家族に影響されているのか ・保育士はなぜ給料が少ないのか—インタビュー調査および他国との比較— ・幼児に対する絵本や紙芝居の読み聞かせの意味—保育者へのアンケート調査を通して— ・外国にルーツを持つ子どもの教育—教育施設における子どもとその保護者に対する支援—
課外活動	—	
主な教育業績	—	

研究		
2025年4月～2026年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 2歳児クラスでの見立て遊びに関する一考察 ー素材遊び場面における環境構成に着目してー (共著)	2026年3月	日本女子大学大学院紀要 第32号
2025年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) めばえ幼稚園の保育実践 ー幼児たちの自ら共に生き抜く力を育む場としてー (共著)	2023年5月	ななみ書房
(学術論文) ふり遊び・見立て遊びの変容過程と保育者の援助 ー1歳児クラスの素材遊びに着目してー (共著)	2025年3月	日本女子大学大学院紀要 第31号
(学術論文) ごっこ遊びの萌芽期を支える保育者の援助 ー2・3歳児クラスの保育実践事例からー (共著)	2024年3月	日本女子大学大学院紀要 第30号
(学術論文) ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助 II ーごっこ遊び事例を5つの視点から考えるー (共著・筆頭)	2024年3月	日本女子大学大学院紀要 第30号
(学術論文) 幼稚園・保育所・認定こども園に対して学生が持つイメージ ー保育科1年生を対象としたアンケート調査を通してー (単著)	2023年3月	山梨学院短期大学研究紀要 第43巻

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助 ー2・3歳児クラスの事例からー (共著・筆頭)	2023年 3月	日本女子大学大学院紀要 第29号
(学術論文) 「ごっこ遊び」研究の傾向 ー保育実践を対象とした調査に着目してー (共著)	2022年 3月	日本女子大学紀要 第69号
(学術論文) 自然との関わりに見る「幼児期にふさわしい生活」 ー自然を生かした保育を実践する保育者の語りを通してー (共著)	2021年 3月	日本女子大学大学院紀要 第27号
(学術論文) 三法令改訂を保育者はどのように受け止めたか ー管理職への聞き取りからー (共著)	2020年 3月	日本女子大学家政学部紀要 第67号
(学術論文) 幼稚園教育要領改訂にともなう幼稚園の変化 ー研究動向と今後の課題ー (共著)	2019年 3月	日本女子大学家政学部紀要 第66号
(学術論文) 幼稚園教育要領改訂とこれからの幼児教育 (単著)	2018年 3月	日本女子大学院紀要 第24号
(学術論文) 遊びを支える保育者の援助とは何か ー幼稚園年長児における総合的な造形活動を通してー (修士論文) (単著)	2018年 3月	日本女子大学家政学研究科児童学専攻

研究（つづき）		
2025年3月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学术论文） 幼児に“まかせる”保育とは？ －幼稚園年長児のフィールド観察を通して－ （単著）	2017年	子どもロジャー VOL.21
（その他：ポスター発表） 保育者の大学院進学プロセス （共同）	2025年 3月	日本保育者養成教育学会 第9回研究大会
（その他：口頭発表） 1歳児クラスのふり遊び・見立て遊び －素材遊びの可能性を探る－ （共同）	2024年 11月	日本乳幼児教育学会 第34回大会
（その他：ポスター発表） 私立幼稚園における教育方針・理念、教育方法に関する調査 －山梨県内私立幼稚園 Web サイト・SNS の分析から－ （単独）	2024年 5月	日本保育学会 第76回大会
（その他：研究発表） 私立幼稚園における教育方針・理念、教育方法に関する調査 －山梨県内私立幼稚園 Web サイト・SNS の分析から－ （単独）	2023年 5月	日本保育学会 第76回大会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（2） （単独）	2018年 5月	第71回 日本保育学会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（1） －総合的な活動としての「インディアン祭り」の事例を通して－ （単独）	2017年 5月	第70回 日本保育学会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2025年4月～2026年3月
・保育・こども園勉強会 講師 (2025年度)
2025年3月以前 (主なもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・山梨学院短期大学免許法認定講習 講師 「子どもと人間関係特論」(2024年度) ・南アルプス市公立保育所あり方検討委員会 委員 (2024年度) ・山梨県立日川高等学校 連携事業 講師 (2023年度) ・中学生向けオープンキャンパス体験講座 講師 (2023年度) ・FM甲府の子育て支援番組 出演 (2023年度) ・山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2023年度) ・山梨学院短期大学免許法認定講習 保育内容特論(人間関係) 講師 (2022年度) ・やまなし保育士・保育所支援センター(山梨県社会福祉協議会内)「令和4年度『保育のお仕事』就職・復職応援 Web セミナー」 講師 (2022年度) ・保育活動におけるリスク・コミュニケーション研修 講師 (2022年度) ・山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2022年度) ・山梨英和高等学校 連携事業 講師 (2021年度) ・日本保育者養成教育学会第6回研究大会 実行委員 (2021年度)
受賞 ※個人、所属団体
—